

令和7年6月23日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和7年5月15日（木） から 令和7年5月16日（金） まで

2 活動場所

明治大学アカデミーコモン棟 3階 アカデミーホール
（東京都千代田区神田駿河台1-1）

3 参加者

山谷仁、柳橋好子、日向裕子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

| 調査項目名称 | 調査研究(視察含む) 研修 要請陳情等 |
|------------------------------|--|
| 活動の理由 及び その目的 | 地方自治のあり方が問われ続けられて久しいが、地方の人口減少・少子高齢化が急速に進む中で、これからの地方自治のあり方を再検討し、地方の自立を構築するため、調査研究を行うものである。 |
| 活動概要 | <ul style="list-style-type: none">●実施日 令和7年5月15日(木)～令和7年5月16日(金)●場所 明治大学アカデミーコモン棟 3階 アカデミーホール 東京都千代田区神田駿河台1-1●内容 第17回 2025年度日本自治創造学会研究大会 <p>5月15日(木)13:00開会</p> <ul style="list-style-type: none">①地方自治における政治の復権(後 房雄)②日本の統治構造～官僚内閣制は議員内閣制になったのか～(飯尾 潤)③～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～ 地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について (井倉 義伸)④地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～(金井 利之) <p>5月16日(金)10:00開会</p> <ul style="list-style-type: none">⑤AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選から学ぶ～(安野 貴博)⑥ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～(安野 修右)⑦領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～(砂原 庸介)⑧高齢社会における大災害への対応と課題(浅野 大介) <p>15:05閉会</p> |
| 活動成果 | <p>今回の視察のテーマは「変容する社会・地方選挙～地方自治のあり方を問う～」であり、15日4講演、16日4講演と2日間にわたり8講演という充実した日程だった。以下、印象に残った内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">②日本の統治構造の講演における今後の課題として、政治資金改革では民間並みの会計制度と監査、国と地方の新たな関係の焦点となるのは地方議会改革、地方行政と住民関係の再構築などが挙げられる。③地方創生に貢献し得るJICA事業として、JICA海外協力隊、インバウンド事業(留学生・短期研修)、外国人材受入・多文化共生、草の根技術協力、中小企業・SDGsビジネス支援等広範囲、多岐にわたっていて無限の可能性が感じられた。④2024年の改正地方自治法の制定によって、国の指示権の拡大が進み地方の自主性が危ぶまれる。 |

活動成果

⑦ 地方政府内の二元代表制と地方議会の近視眼的な選挙制度、地方政府を越える政党の不在と強い首長の存在、そして集権・分散的な財政システムによって、地方自治体同士が激しい競争を引き起こしてしまうこと、また、選挙や住民投票で示される多様で一貫性のない民意が動員されることで、広域的な意思決定が不安定な状態に置かれているなどの興味深い研究があった。

⑧ 高齢社会における災害復旧の例として令和6年能登半島地震や奥能登豪雨をあげ、広域での家屋倒壊、交通インフラやライフラインへの甚大な被害などがあり、孤立集落が数多く発生、広域避難や情報収集・共有の課題などありとあらゆる困難が押し寄せてきたという印象が強い。日頃から情報連携の仕組み、データベースや統合管理システムの構築を行い災害に備える必要性を痛感した。

研 修 行 程 表

○実施日

令和7年5月15日（木）～令和7年5月16日（金）

○令和7年5月15日（木）

9：50 盛岡発 ----- 12：08 東京着
はやぶさ12号

13：00 ～ 17：00

第17回 2025年度日本自治創造学会研究大会 受講
明治大学アカデミーコモン棟 3階 アカデミーホール
東京都千代田区神田駿河台1-1

ヴィアイン飯田橋後楽園 宿泊
東京都新宿区新小川4番11号

○令和7年5月16日（金）

10：00 ～ 15：00

第17回 2025年度日本自治創造学会研究大会 受講
明治大学アカデミーコモン棟 3階 アカデミーホール
東京都千代田区神田駿河台1-1

17：20 東京発 ----- 19：33 盛岡着
はやぶさ35号

令和7年12月11日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和7年11月9日（日） から 令和7年11月10日（月） まで

2 活動場所

東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 参加者

山谷仁、柳橋好子、齋藤明

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:市民クラブ

| 調査項目名称 | 調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等 |
|---------------------|--|
| 活動の理由 及び その目的 | 決算審査を終え、予算審査を迎えるために、地方財政のあり方を学び滝沢市の財政を考えるために研修するものである。 |
| 活動概要 | <p>○実施日 令和7年11月10日(月)10:00~16:00</p> <p>○場所 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル</p> <p>○内容 『財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー』 講師:村山祥栄(前京都市会議員)</p> <p>☆10:00~12:30 「財源をつくる！地方議員のための歳入増加実践策」 ・コロナ後の地方財政 — 財源確保の現実 ・ふるさと納税の最新トレンドと成功事例 ・法定外税をどう活用するか？実務ポイント ・地方交付税の仕組みと増収への工夫 ・人口減少時代の財政質問の考え方 ・公有地・公共施設の利活用で収益を生み出す方法 ・議員ができる「歳入提案」の作り方</p> <p>☆13:30~16:00 「夕張に学ぶ財政再建 — 持続可能な歳出削減策」 ・夕張破綻の教訓 — 財政再建のリアル ・歳出削減の第一歩は“事業の見直し”から ・行政改革と無駄遣いチェックのツボ ・金を借りてモノをつくる時代は終わった ・官民連携(PPP・PFS)の実践と落とし穴 ・人件費・給与表を理解して議会で活かす方法 ・将来負担を減らす中長期的な歳出戦略</p> |
| 活動成果 | <p>○特記記事</p> <p>☆アフターコロナでの行政の現状を注視しなければならない。 ・コロナ対策としての交付金減少(依存体質のリスク) ・物価高騰による経費増・子育て支援費の投機的経費増 ・社会福祉費の増大・維持修繕費の負債の増 等があげられる。</p> <p>☆臨時財政対策債の供用が終わり、各自治体の財政施策が試される。 ・長期財政計画を組むこと ・社会福祉保障費の増大に備えること 等があげられる。</p> <p>☆行政改革はやり続けなくてはならない。</p> |

○所感等

地方財政における現状、歳入策、財政再建の道の対応、また、歳入策として発想の転換の必要性、決算審査の重要性など盛り沢山の内容で、滝沢市にとっても大いに参考にできる研修だった。

歳入増の方法として、ネーミングライツ、スポンサー収入、保有財産の有効活用、公有地の再点検、資産の点検などあらゆる市の財産を総合的に審査するなど、具体的な例が示され、学ぶものが多かった。「財政再建は歳出にあり」とうたっているとおり、決算審査の重要性を力説していた。計画性の整った体制からの事業展開、それに伴った決算審査のあり方は、滝沢市、滝沢市議会にも共通する課題と感じた。

講師が「議会答弁をするとき、1日あるいは2日は市長並びに副市長だけに責任をもって答弁してもらおう。議会からの約束事として、本音の答弁を貰うことが重要」ということを例にあげていた。

他の自治体でも実行されていることでもあり、本市も議会側から申し入れて実現させることは、議会運営として滝沢市議会を大きく前進させるものではないかと感じた。

活動成果



研 修 行 程 表

○実施日

令和7年11月9日（日）～令和7年11月10日（月）

○令和7年11月9日（日）

15:17 盛岡発 ----- 17:32 東京着
はやぶさ26号

17:57 東京発 ----- 18:18 西新宿着

【宿泊】

西鉄イン新宿

（東京都新宿区西新宿7丁目23-2）

○令和7年11月10日（月）

10:00 ～ 16:00

地方議員研究会主催セミナー

「財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー」 受講

リファレンス西新宿大京ビル

東京都新宿区西新宿7丁目21-3

16:15 西新宿発 ----- 16:35 東京着

17:20 東京発 ----- 19:33 盛岡着
はやぶさ35号

令和 8 年 3 月 4 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日
令和8年2月9日（月） から 令和8年2月10日（火） まで
- 2 活動場所
天童市立天童中部小学校
（山形県天童市老野森2丁目6番4号）
- 3 参加者
山谷仁、柳橋好子、日向裕子
- 4 活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

| 調査項目名称 | 調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等 |
|---------------------|---|
| 活動の理由 及び その目的 | <p>滝沢市でも、年々不登校児童が増え続けているという教育現場の状況を見るにつけ、どうしたら不登校児童を減らすことができるのかという問題に取り組みたいと考えた。</p> <p>その中で、天童中部小学校では、不登校児童ゼロを目指しているということを知り、どのような授業や子供たちと接しているのかを知り、本市における今後の取組の参考にしたいと考え、学校視察を行った。</p> |
| 活動概要 | <ul style="list-style-type: none">●実施日 令和8年2月10日(火) ●場所 天童市立天童中部小学校 山形県天童市老野森2丁目6番4号 ●内容 令和7年度天童市立天童中部小学校 学校視察 研究主題 学び続ける子供の育成～子供理解に基づくアプローチ～ |
| 活動成果 | <p>天童市立天童中部小学校では、今後も急速に変貌を遂げるであろう社会や生活を見据えて、子供たちが、学習内容を人生や社会のあり方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、研究主題を「学び続ける子供の育成」とした、とのことだった。授業は「子供がする(学習者主体の)授業」で、最終的には、教師がいないところで子供たちが学び合うことを教師が支援する。</p> <p>仲間と教師が創る授業(教科等の本質を大切にし、知識の概念化を図る)が8割、ほかの2割は①自学・自習(自分たちだけで学び合いができる有能感・満足感を味わう)や②マイプラン学習～単元内自由進度学習～(自分の意思・判断によって、自らの学習を組み立て計画し進める学び)、③フリースタイルプロジェクト(自分の興味・関心を生かし、学ぶ内容や方法、計画を自分で決め、進める学び)の3種類で構成されている。</p> <p>実際の授業の様子を拝見したが、子供たちは、自分たちで授業を展開したり、発表しあったり、先生になったりと、実に生き生きと知識を吸収していた。調べ物の際は、タブレット端末や辞書を用いていたが、辞書の方が頻度が高かったように感じた。こちらから質問しても臆せずはきはきと答えてくれた。学校が楽しくて仕方がないように思われた。不登校児童はいないとのことだ。</p> <p>今回の視察の成果とすれば、この学校で視察したすべてが成果である。このようなカリキュラムを取り入れると、不登校児童を確実に減らすことができるとの核心を得たという思いだ。ぜひ、本市でもこのような授業をカリキュラムの中に取り入れていただきたいと願うとともに、今後の本市における取組の参考としたい。</p> |

活動成果



研 修 行 程 表

○令和8年2月9日（月）

8：50 盛岡発 ----- 9：29 仙台着
（はやぶさ10号）

10：16 仙台発 ----- 11：33 羽前千歳着

11：34 羽前千歳発 ----- 11：46 天童着

【宿泊】

ホテルパールシティ天童（山形県天童市東本町2-9-23）

○令和8年2月10日（火）

10：00 ～ 14：00

天童市立天童中部小学校視察

天童中部小学校（山形県天童市老野森2丁目6番4号）

16：07 天童発 ----- 16：20 羽前千歳着

16：21 羽前千歳発 ----- 17：50 仙台着

18：54 仙台発 ----- 19：33 盛岡着
（はやぶさ35号）

※2月10日の視察開始時間に当日出発では間に合わないため前泊